

# 東北地方の持続的発展を支える 公共交通の実現に向けて

(東北地方交通審議会 交通部会 報告概要)

## 交通を巡る環境の変化

マイカー社会化と  
地域の公共交通の衰退

地方部の「地域の足」  
の喪失のおそれ

人口減少、  
少子高齢化

都市部の渋滞等の  
深刻化のおそれ

新幹線等の  
高速交通基盤の整備

広域的な交流の  
拡大の可能性

運輸事業の  
自由化

新たな交通サービス  
の展開の可能性

情報通信  
技術の革新

従来型の発想では、適切な公共交通の維持・整備は困難

## 「新たな交通の中長期ビジョン」の策定

### ポイント

～交通の課題、とりわけ、  
マイカー社会化が進む中での  
公共交通の主な役割を整理～

- 交流人口の拡大による地域活性化
- 快適で活力のある都市の実現
- 安心して暮らし続けられる地域づくり
- 環境対策の推進

### ポイント

～新たな取組みの方向性、  
具体的施策とその  
実施時期や優先順位  
を整理～

「新たな中長期ビジョンの枠組み」  
・対象地域：東北6県  
・目標年次：今後おおむね10年後

この「正念場」を乗り越え、持続的な発展を可能とする交通の実現を目指します  
～全国的な人口減少・少子化を迎える中、東北のトップランナーとしての取組みは重要です～

「東北地方交通審議会」とは…国土交通省組織令に基づき設置されている東北運輸局長の諮問機関。  
(会長：八島俊章東北経済連合会会長)

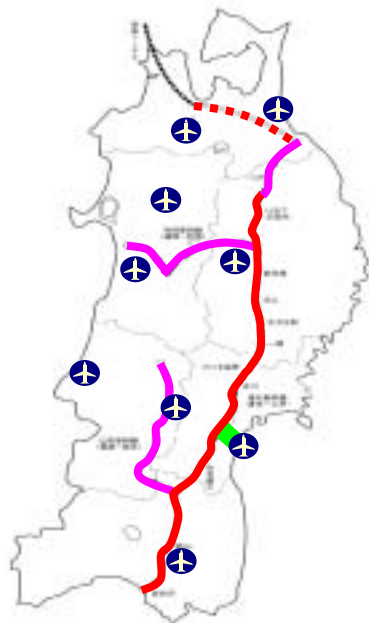
「交通部会」とは…交通に関する専門的な審議を行うため、審議会の下に設置された部会。  
(部会長：稲村肇東北大学教授)

# 東北地方の公共交通の動向

## 地域間の交通

### (新幹線開業時期)

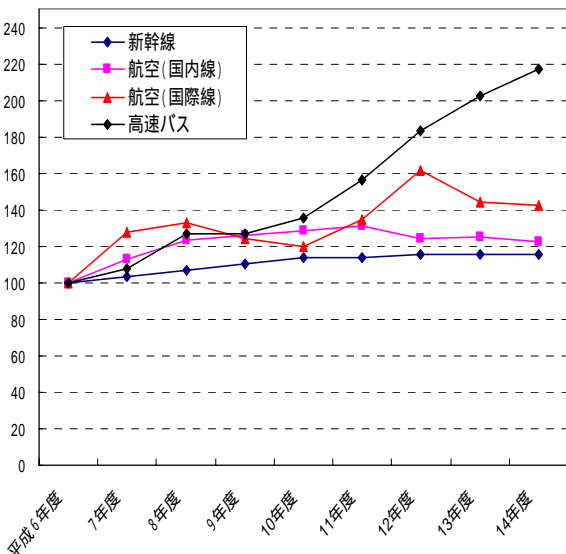
- 東北新幹線
  - 大宮～盛岡間 S57.3
  - 大宮～上野間 S60.3
  - 上野～東京間 H 3.3
  - 盛岡～八戸間 H14.12
- 山形新幹線
  - 福島～山形間 H 4.7
  - 山形～新庄間 H11.12
- 秋田新幹線
  - 盛岡～秋田間 H 9.3



新幹線、空港など高速交通基盤の整備

地域間交通の利用者の増加

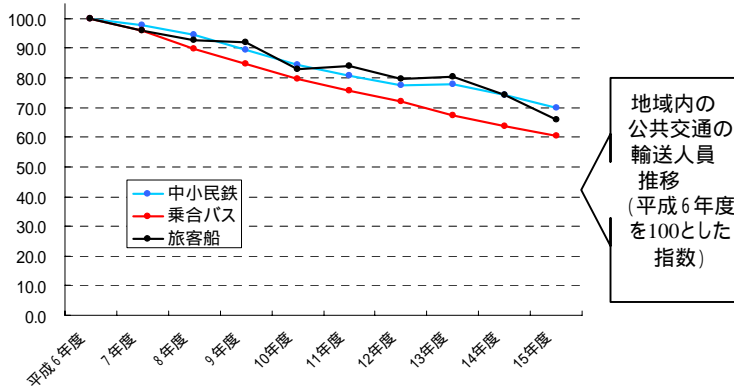
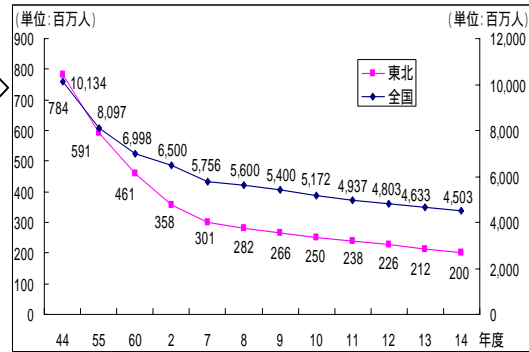
地域間の公共交通の輸送人員推移  
(平成6年度を100とした指数)



一方、新幹線駅や空港等と目的地を結ぶバスなどは、利用者が伸び悩んでいるものも

## 地域内の交通

### 乗合バス輸送人員の推移



地域内の公共交通の輸送人員推移  
(平成6年度を100とした指数)

利用者の大幅な減少  
歯止めがかからない状況

地方部の「地域の足」の維持が困難に

バス体廃止市町村



路線バスの撤退手続きの緩和(許可届出。14年2月～)後、路線バスの体廃止が行われた市町村は全体の約1/4(緑色で塗り潰し)  
16年夏時点

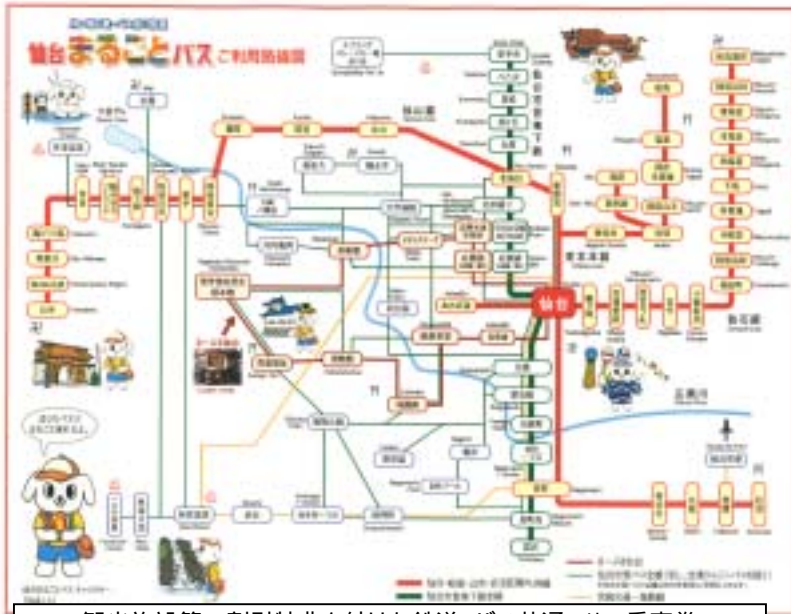
都市部でも、公共交通の利用者が減少

道路渋滞などの深刻化

# 新たな取組みの方向性

従来型の輸送サービスや事業者各自の努力だけでは

公共交通の維持・充実は困難



## 「多様な関係者の『連携』」

- ・公共交通相互の「乗り継ぎの円滑化」
  - ・観光関係者等とのタイアップ
- など

公共交通の利便性・魅力の向上

## 「新たなサービスの導入」

- ・情報通信技術の革新
  - ・運輸事業の自由化
- などを踏まえた多様な新サービスの導入

公共交通の利便性向上・需要喚起

## 「需要構造の変化に適切に対応した供給形態の見直し」

- ・利用者ニーズに適したダイヤ・ルート設定やデマンド方式の導入
  - ・乗合タクシーの導入
- など

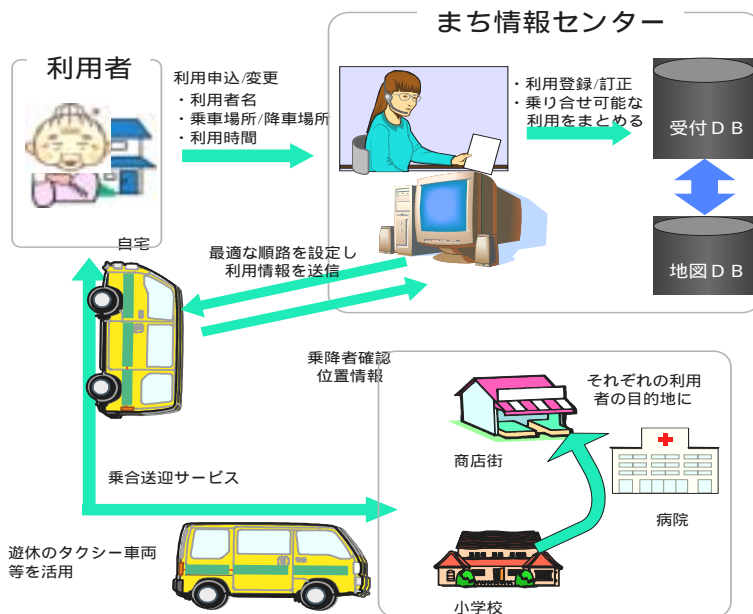
公共交通の利便性向上・効率化

## 「地域住民等の『参画』と『支援』」

- ・計画段階での住民等の参画
- ・運行段階での住民等の支援

地域一体となった「地域の足」の維持・充実

「おだかe-まちタクシー」運行イメージ図



交通空白地域の新たな足として導入されたデマンド型乗合タクシー

# 取り組むべき施策

## 広域的な公共交通の整備・活用:



### 高速交通基盤整備計画の 着実な推進と関連施策の実施

空港アクセス鉄道や整備新幹線の着実な整備  
・また、鉄道在来線の接続の円滑化、  
バス・乗合タクシー等の整備  
などの関連施策の実施により広域活用を促進  
その他の鉄道の機能強化についても粘り強く検討



### 高速バス網の充実

高速バス網の一層の充実  
・そのため、阻害要因の除去や  
利便性向上・利用促進策を実施

### 多様な関係者が 一体となった利用促進

交通事業者、行政、観光関係者等の  
多様な関係者が一体となった。  
・情報発信の強化  
・魅力ある旅行商品の造成 など

秋田エアポートライナー路線図



### 乗り継ぎの円滑化

新幹線駅などの交通結節点における  
・バス等への乗換え案内の充実  
・バリアフリー化の推進 など

### 目的地への交通手段の 利便性向上・効率化

需要を踏まえた、  
・ダイヤ・ルートの見直し  
・乗合タクシーの活用 など

空港と周辺観光地を結ぶ乗合タクシーの拡大と  
観光関係者との連携の例

## 地方部における「地域の足」の維持・整備:

### 地域一体となった公共交通のあり方の検討

地域交通の厳しい状況に関する情報の共有化  
○地域住民なども含め地域一体となった「地域の足」のあり方の検討

### 地域一体となった 地方鉄道・バス、 離島航路の改善

・乗り継ぎ改善などの利便性向上  
・地域一体となった観光需要喚起  
・地域住民の利用促進

○地域一体となった取組みが不可欠

### 新たな「地域の足」 の開発と普及

従来の「地域の足」の維持が困難な  
地域のため、  
・デマンド型乗合タクシーなどの  
普及促進  
・過疎地有償ボランティア輸送など  
新たな「地域の足」の開発  
(モデル事業の実施)

会津鉄道「マウントアップ」号



JRとの相互直通を開始した地方鉄道の例

おだかe-まちタクシー



デマンド型乗合タクシーの例

# 都市交通の改善・整備:

## 都市鉄道の機能強化

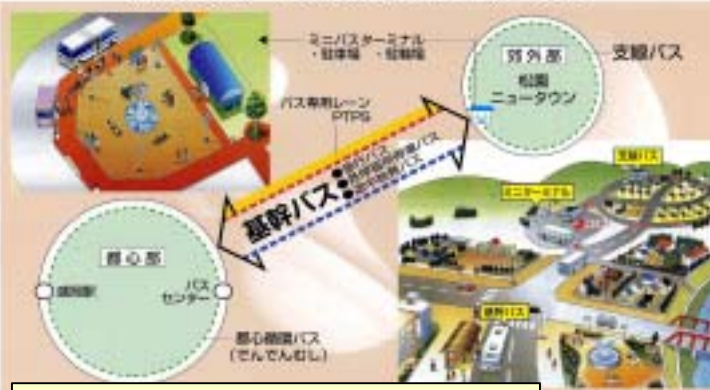
仙台地下鉄東西線の着実な整備

- ・また、バス網の再編・地下鉄との結節強化などその整備効果を最大限に活かす関連施策の実施
- 新駅の整備とバスとの結節の強化など

仙台市地下鉄東西線計画図



盛岡市のゾーンバスシステムのイメージ図



## バス利用環境の改善

- 公共車両優先信号システムの導入など定時性の向上
- ゾーンバス・循環バスなど使いやすい路線網への再編
- バスロケーションシステムなどの新技術の活用

## タクシーの活用

乗合タクシーの導入や福祉輸送分野での活用などによる、都市交通の改善のためのタクシーの活用

## 交通結節点の改善

乗換え案内の充実や乗車券の共通化による乗り継ぎの円滑化  
まちの賑わいの拠点としての駅などの活用

## 新サービスの導入

- ICカード乗車券の導入・相互利用の促進
- 携帯端末への情報発信の充実
- 柔軟な運賃設定

## バリアフリー化の推進

- 旅客施設のバリアフリー化の推進
- ・駅のエレベーター等の設置
- ・ノンステップバス車両の導入
- ボランティア的な取組みの支援・促進による、「心のバリアフリー」社会の実現

「交通バリアフリー教室」の模様



# 交通分野における環境対策の推進:

## 車両の低公害化の推進

低公害型の自動車、鉄道車両の導入促進



低公害型自動車の導入

## 環境負荷の小さい交通体系の構築

先進地域における各種交通施策の集中実施などの「モデル事業」の推進  
アイドリングストップの実施など環境に配慮した「グリーン経営」の推進

## 効率的で環境に優しい物流体系の整備

より環境に優しい鉄道や海運を活用する「モーダルシフト」の推進  
物流の高度化・効率化の推進  
リサイクル輸送体系の構築

## 旅客部門の環境対策

ノーマイカーデーの実施、観光地などでのマイカー規制などの推進

# 施策推進の基本的考え方

各施策の実施時期・優先順位等にメリハリを付けていくことが必要  
その基本的な考え方の例は、次の通り

交通基盤の整備  
着実に実施し、  
計画期間内に完成

- ・ 仙台空港アクセス鉄道
- ・ 整備新幹線
- ・ 仙台市地下鉄東西線

その他の交通基盤の機能強化等の検討も、  
粘り強く進める

交通基盤の整備に関連する施策  
交通基盤の完成時に実施  
適切な時期の準備開始が必要

- (例)・ 仙台空港アクセス鉄道と在来線との  
直通運転
- ・ 新幹線新駅からのバス等の整備
  - ・ 地下鉄を軸としたバス路線網の再編

地方部の「地域の足」の確保など  
緊急性の高いものから、直ちに実施していく

- ・ この他、「交通拠点から目的地への交通手段の確保」「地球温暖化対策のため取組み」なども、  
緊急性の高いものと位置付け、早急に推進

施策の実施状況のフォローアップを行い、着実に推進  
また、状況の変化に応じて、取り組むべき施策を見直し

## 地域の持続的発展に資する公共交通「モデル」の確立へ

- ・ 東北地方では、「地域の足」の存続も危ぶまれる厳しい状況にありますが、  
この「正念場」を乗り越え、持続的発展可能な地域とそれを支える公共交通の実現を図ります。
- ・ また、東北が迎えている環境変化は今後全国で生じることが予想されるものです。  
その意味で「トップランナー」としての東北の取組みは、我が国全体にとっても非常に重要です。

**東北運輸局は、このビジョンに基づく取組みを推進・支援していきます**

お問合せ先： 東北運輸局企画振興部企画課

〒983-8537 宮城県仙台市宮城野区鉄砲町1 仙台第4合同庁舎  
電話： 022-791-7507, FAX： 022-791-7538